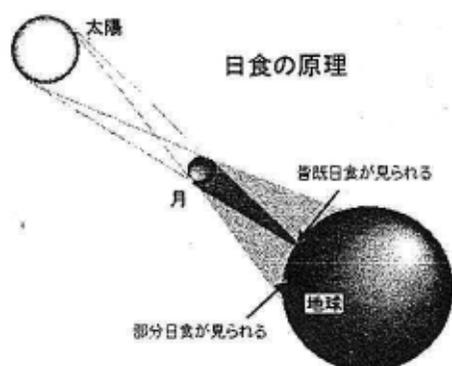


10月14日の日食を見よう

10月14日には約2年ぶりに日食を見ることができます。晴れやすい時期ですので、この機会にぜひご覧ください。



● 日食とは

日食は太陽の光が月でさえぎられてできる月の影の中に地球が入る現象で、丸い太陽の一部が欠けて見えます。

今回の日食は富山では10月14日午前10時43分頃から欠け始め、11時35分頃に最も欠けます。この時は太陽の直径の21.2%が欠けます。その後、だんだん元に戻り、12時28分頃に日食が終わります。太陽は南の方角に見えます。詳しい様子は右下の図をご覧ください。

前回の富山で見た日食は2002年6月11日でした。県内は雲におおわれ、一部地域で少し見えただけでした。次回に富山で見える日食は2009年7月22日で、奄美大島付近では皆既日食になります。

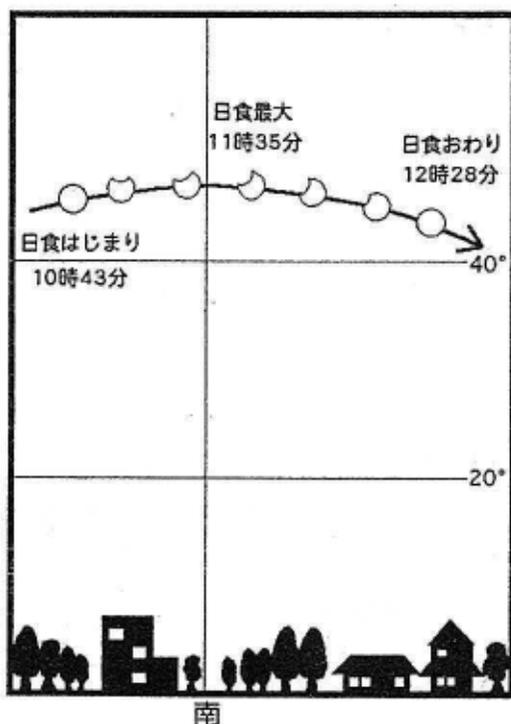
● 日食を安全に見よう

太陽を直接見るのは大変危険です。

ここではとても安全な、段ボールに頭を入れて日食を観察するための道具を紹介します。

用意するもの：大きく、長い段ボール

の箱（長さ 50cm 以上）、針、はさみ、小さな紙と白い大きな紙、のり



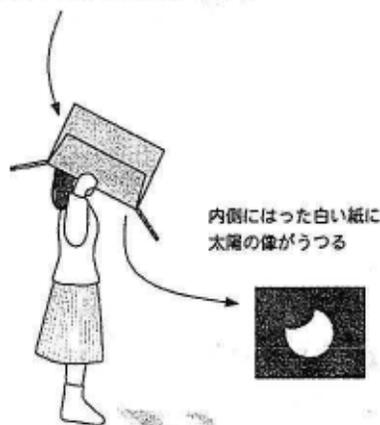
使い方：右図のように段ボール箱を頭にかぶり、太陽を背にして、小さな穴から太陽の光を入れます。段ボールは太陽の高さと同じくらい傾けてください。太陽の像の大きさは段ボール箱の長さが50cmでは5mm、100cmなら1cm程度です。

簡単に作ることができますので、事前に作り、普段の太陽で試してみてください。

富山市天文台 (TEL076-434-9098) では10月14日午前10時30分から12時30分まで特別観測会を行います。
(渡辺 誠)

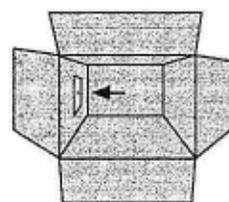
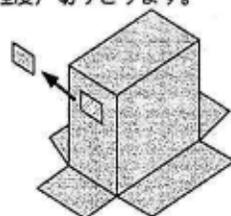


小さい穴をあけた紙を貼ったほう



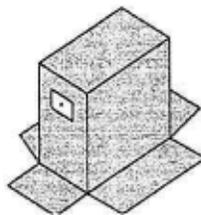
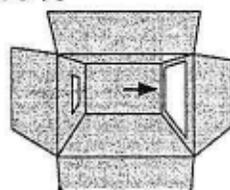
日食観測装置の作り方

- ① 小さめの紙 (7 cm×5 cm 程度) の中心に、針で小さな穴をあけます。
- ② 段ボール箱の側面を、①の紙よりひとまわり小さく (5 cm×3 cm 程度) 切りとります。
- ③ 段ボール箱の内側から、①の紙を②で切りとった部分にはります。



段ボール箱は、深さ40 cm以上、長さ50 cm以上の大きなものを使用します。

- ④ 段ボール箱の内側の、③の反対側に、白い大きな紙をはります。
- ⑤ 完成!



富山市科学文化センター

〒939-8084 富山市西中野町 1-8-31

tel:076-491-2123 fax:076-421-5950

<http://www.tsm.toyama.toyama.jp>

平成16年10月1日